

プレス公表（運転保守状況）

公表日	2026年6月17日		
号機	7	件名	タービン建屋（非管理区域）における海水の漏えいについて（区分：Ⅲ）
【事象の発生】 ・ 2026年6月17日午前0時6分頃、7号機タービン建屋の中地下2階の電解鉄イオン供給装置エリアにおいて、巡視点検中の運転員が、電解鉄イオン供給装置の出口配管の継ぎ目部から、約26,000Lの海水が漏えいしていること確認しました。 そのため、漏えい箇所前後にある弁を閉め、午前0時17分に漏えいは停止しました。 なお、漏えいしたのは海水であり、汚染はないことから、外部への放射能の影響はありません。 (2026年6月17日にお知らせ済み) 【対応状況】 ・ 漏えい箇所を分解したところ、配管側のフランジ部（継ぎ目部）には漏えいに至るような傷等はなかったものの、弁側のフランジ部のゴムライニング※¹面にわずかなへこみ（最大で約0.27mm）があることを確認しました。 ① 漏えい箇所を分解したところ、配管側のフランジ部（継ぎ目部）には漏えいに至るような傷等はなかったものの、弁側のフランジ部のゴムライニング※¹面にわずかなへこみ（最大で約0.27mm）があることを確認しました。 ・ 2018年の点検時に当該フランジ部のガスケット※²の仕様を、RFガスケットからFFガスケットに変更しており、フランジ部のゴムライニングのわずかなへこみは、RFガスケットを長期間使用していたことにより生じたものと考えられます。 ・ このわずかなへこみによってガスケットと弁側のフランジ部との締付圧力（面圧）が小さくなっていたところに、鉄イオン海水供給ポンプの運転・停止による、水圧の変化を繰り返し受けたことで、ガスケットが徐々に変形して密封性能が低下し、漏えいに至ったと推定しています。 ・ 応急処置として、FFガスケットから、へこみの影響を受けないRFガスケットへ交換を行い、鉄イオン海水供給ポンプの運転状態で、漏えいが無いことを確認し、復旧しています。（2026年6月26日） ・ また、応急処置での復旧のため、海水漏れが確認されたエリアを監視カメラで、1時間に1回確認しています。 ※ 1 防食や耐摩耗のため、金属製の配管の表面を被覆しているゴムシート ※ 2 配管の継手やカバーなど、動かない部分に挟み、隙間を埋めて漏れを防ぐシール材で、パッキンと同じようなもの (2026年7月9日にお知らせ済み) 【対策】 ・ 漏えい箇所および水平展開にて確認された類似の5箇所について、応急処置以降、漏えいは発生していないものの、弁交換を行い、フランジ部のゴムライニングにへこみが無い状態にしたうえで、RFガスケットからFFガスケットへ交換を実施します。 (2026年度中完了予定) ・ フランジ部にゴムライニングが施工されている弁の点検に際しては、ゴムライニング面にへこみが無いことを確認する手順に、見直しを行います。（2026年9月中完了予定）			

プレス公表（運転保守状況）

公表日	2026年8月12日		
号機	4	件名	運転員専用入退域室の扉（管理区域境界扉）の未施錠について（区分：Ⅲ）
② 【事象の発生】 ・ 2026年7月6日、4号機の運転員専用の管理区域入退域室※の扉の未施錠が確認され、保安規定第96条第4項（管理区域への出入管理）で定める「管理区域の出入口には、施錠等の人みだりに立入りできない措置を講じる」ことができていなかったことがわかりました。 ※ 管理区域へ緊急入域する事象が発生した際に経由する部屋 ・ なお、当該扉がある部屋の入口扉（非管理区域側）は施錠されており、未施錠期間中に人の出入りは無かったことを確認しています。 【原因】 ・ 確認の結果、2026年7月5日、火災報知器の発報（誤動作）に伴い運転員が当該扉から管理区域へ緊急入域した際、施錠を失念したことがわかりました。 【対策】 ・ 管理区域境界扉付近に、施錠を失念しないよう注意喚起する看板とセンサー式の音声案内機を設置しました。 ・ 今後、管理区域境界扉をオートロック化（自動的に施錠）する予定です。 (2026年8月12日にお知らせ済み)			

プレス公表（運転保守状況）

公表日	2026年9月3日		
号機	-	件名	大湊側屋外エリアにおける体調不良者の発生について（区分：Ⅲ）
③ 【事象の発生】 ・ 2026年9月2日午後3時00分頃、大湊側屋外エリアにて、コンクリートの型枠組立作業に従事していた協力企業作業員が体調不良を訴えたため、救急車にて医療機関へ搬送しました。 ・ なお、本人に意識はあり、自立歩行は可能な状態でした。 【対応状況】 ・ 医療機関での診察の結果「熱中症の疑い・急性腎障害」と診断されました。 ・ 今回の事例を踏まえ、発電所関係者に周知し注意喚起を行うとともに、再発防止に努めてまいります。 (2026年9月3日にお知らせ済み)			

プレス公表（運転保守状況）

公表日	2026年9月7日		
号機	-	件名	大湊側屋外エリアにおけるけが人の発生について（区分：Ⅲ）
④ 【事象の発生】 ・ 2026年9月6日午後7時00分頃、大湊側屋外エリアにて、ミキサー車が発進した際に、外し忘れていた輪止めが跳ねて、車両誘導業務に従事していた協力企業作業員の右足首にあたり、負傷しました。 ・ このため、業務車にて医療機関へ搬送しました。 ・ なお、本人に意識はありますが、自立歩行はできない状態でした。 【対応状況】 ・ 医療機関での診察の結果「右足脛骨遠位端骨折（みぎあしけいこつえんいたんこっせつ）」と診断されました。 ・ 今回の事例を踏まえ、発電所関係者に周知し注意喚起を行うとともに、再発防止に努めてまいります。 (2026年9月7日にお知らせ済み)			

プレス公表（運転保守状況）

公表日	2026年9月8日		
号機	7	件名	主発電機軸受付近からの潤滑油漏えいについて（区分：Ⅲ）
⑤ 【事象の発生】 ・ 2026年9月7日午前10時15分頃、7号機タービン建屋2階の主発電機エリアにて、主タービンの油系ポンプを起動したところ、主タービンの発電機側軸受の軸振動計を 取り外した開口部から、潤滑油が漏えい（約20L）していることを確認しました。 ・ そのため、油系ポンプを停止し、午前10時18分に漏えいは止まっております。 ・ 漏れた潤滑油はすでに拭き取りを行っており、当該エリア外への流出はなく、環境への影響はありません。 ・ なお、潤滑油の漏えいがあったことから、一般回線にて公設消防へ連絡しました。 【対応状況】 ・ 油が漏えいした原因調査を実施し、再発防止対策を講じてまいります。 (2026年9月8日にお知らせ済み)			

(参考) プレス公表 継続対応件名リスト

号機	－	件名	モニタリングポストの一時的な測定データ表示不良について（区分：Ⅲ）	公表日	2025年1月27日
号機	－	件名	海水モニタ、モニタリングポスト等の一時的な測定データ表示不良について （区分：Ⅲ）	公表日	2025年2月28日